

福岡県の商工業

福岡県の中小企業は県内企業数の 99.8%を占め、そのうち小規模企業数が 83.2%を占めています。また、従業員数は県内の 77.3%を占めています。

福岡県の工業は、鉄鋼、石炭・化学等の基礎素材型産業や食料品等の生活関連型産業を中心に発展してきましたが、近年では、自動車関連産業等の加工組立型産業のウェイトが高まっています。また、食料品製造業は、豊富で良質な水産物が調達できることや、大消費地に近く物流環境に恵まれていることなどから集積が進んでいます。

自動車産業

福岡県には、日産自動車九州、トヨタ自動車九州、日産車体九州の3つの自動車工場があり、隣の大分県にもダイハツ九州の自動車工場があります。北部九州にある4つの自動車工場の生産能力は年間 150 万台です。世界において、150 万台以上乗用車を作っている国は 7 か国しかありません。福岡県内には、約 650 社の関連企業があり、北部九州の自動車産業を支えています。



水素エネルギー産業

福岡県では、環境にやさしい水素の産業振興に取り組んでいます。九州大学では、水素・燃料電池に関する世界最先端の研究開発が行われ、この分野で、福岡県は世界から注目されています。県では、水素の消費量が多いトラックやバスなどの商用 FCV の普及に向けて、燃料電池トラックの導入や水素ステーションの運営に対する支援を行っています。県庁敷地内に設置しているものを含めて、現在、県内8か所に水素ステーションが設置されています。



大型FCトラック

バイオ産業

福岡県では、生物の持つ能力や性質を活かす「バイオ技術」を活用して、産業を振興しています。久留米市など筑後地域は、昔から醤油や味噌など発酵食品の製造が盛んであり、また日本酒を造る酒蔵も多くあります。この地域を中心に新しい薬や健康食品、福岡県独自のお酒などの製品が開発されたり、バイオに関係する企業が新設されたりするよう、研究開発の支援などを行っています。



バイオ研究の様子

半導体産業

福岡県には、半導体関連企業が約 400 社集積しています。また、大学・高专・工業高校などの教育機関が多数立地しているほか、企業の研究開発を支援する「福岡超集積半導体ソリューションセンター」や半導体人材を育成する「福岡半導体リスキングセンター」等の公的支援機関も充実しています。県ではこうしたポテンシャルを最大限に活用し、産学官が連携して、半導体産業を振興しています。



福岡超集積半導体ソリューションセンター

宇宙ビジネス

福岡県には、宇宙に挑戦する企業や、宇宙に関する研究を行っている九州大学、九州工業大学などがあります。福岡県では、これらの企業、大学が行う人工衛星やロケット、人工衛星からのデータを活用した新サービス、宇宙食の開発などの支援を行っています。



県内宇宙スタートアップ(株)QPS研究所が開発した小型レーダー衛星
(提供: (株)QPS研究所)

スタートアップ支援

2025年4月に、世界的なスタートアップ支援機関であるCIC(ケンブリッジイノベーションセンター)がアジアで2か所目の拠点「CIC Fukuoka」を開設しました。福岡県では、「CIC Fukuoka」内に、県として初めてのスタートアップ支援拠点「グローバルコネクタ福岡」を設置し、「資金調達」「ビジネスマッチング」「海外展開」「先端技術」「専門人材マッチング」などを支援する職員を配置しています。スタートアップの成長を総合的に支援し、更なるスタートアップの創出や成長に繋がるグローバルなエコシステムの形成を目指しています。



グリーン成長プロジェクト

福岡県では、国が掲げる2050年のカーボンニュートラルを見据え、自動車、半導体、水素の分野において、「グリーン」をキーワードとした「グリーン成長プロジェクト」を推進しています。EVや自動運転などの「先進モビリティ」、省エネで高性能な「グリーンデバイス」、再生可能エネルギー等で作る「グリーン水素」の先進拠点の構築に取り組み、経済と環境の好循環の実現を目指します。

